

平成30年度

商工業振興に関する要望書

苫小牧商工会議所

苫小牧市長 岩倉 博文 様

要 望 理 由

日頃より、苫小牧市の活力ある街づくりに向けてご尽力いただいておりますこと、衷心より感謝申し上げますとともに、苫小牧商工会議所活動へのご理解・ご協力に対し、重ねて御礼申し上げます。

さて、日本全体の経済動向をみますと、政府の基調判断は「景気は着実に持ち直している」と判断されております。

一方で、直近の有効求人倍率は1.52とバブル期の水準を上回るなど、人手不足が深刻になってきており、今は人材供給力の課題が、経済成長の制約要因となる段階になりつつあります。

当市においても、人手不足問題が顕在化していることに加えて、後継者問題や足元の消費手控え傾向などからも、依然厳しい経営環境が続いております。

そのような中、苫小牧市民が穏やかで、安全・安心に暮らせる生活環境の形成には、地域経済の活性化が不可欠であり、そのためには、行政と経済界が理解と協力のもとに行動することが最も重要なことであり、当商工会議所といたしましても、商工業の発展に寄与し、広く社会福祉の増進に資するという商工会議所本来の目的に向かって行動しているところであります。

この度、平成30年度苫小牧市施政方針及び予算編成にあたり、会員総意による要望書を提出し、要望項目の早期実現に向け、貴職の特段なるご高配を賜りたくお願い申し上げます。

本年は、5章の大項目、23の小項目を要望項目とした他に、緊急を要する「緊急要望事項」3項目、中長期的に検討を要する「特別要望事項」2項目を加えております。

これらの要望事項の実現が苫小牧市の発展につながることを切に願い、要望書の提出とさせていただきます。

平成29年10月30日
苫小牧商工会議所
会頭 宮本 知治

緊急要望事項

1. 旧サンプラザビル・駐車場施設の公費解体
2. 車両通行量が多い跨線橋(緑・中野・港)の冬期間における交通対策(ロードヒーティング敷設、すべり止め舗装等)の実施
3. 仕事と子育ての両立に適した保育環境の早期整備

特別要望事項(中長期計画)

1. 災害時対応道路として国道36号線と臨海北通の接続道路新設
〔中野跨線橋～港跨線橋の約4.2Km間〕
2. 南北交通アクセス向上のためのJR線の市街高架化

第1章 地域企業活動の活性化並びに中小企業対策の推進

1. 低廉かつ安定的な電力供給確保のため泊発電所の安全性を確保した上での早期再稼働の実現
2. 企業活動の基盤をなす労働力の慢性的な人手不足に対する人材育成・確保等の雇用対策推進
3. CO2フリー社会の実現を目指した水素エネルギーの利活用の促進
4. 地域の景気刺激策の推進
5. 地元中小企業の安定経営を支える諸事業の推進
6. 持続可能な地域社会形成の推進

第2章 まちづくり並びに都市機能強化の推進

1. 苫小牧の顔であるJR苫小牧駅南口周辺地域の早期再整備の推進
2. まちづくりにおける東西バランスのとれた有効的な諸施策の推進
3. 苫小牧中央インターチェンジの実現と緑跨線橋の早期整備
4. 市民生活の安全と経済活動の利便性向上に向けた道路整備等の推進
5. 地域の持続的発展と活性化のための近隣都市(道央・胆振・日高)との地域連携の推進

第3章 地域振興施策の推進

1. 経済活性化並びに観光振興につながる苫小牧版統合型リゾート(IR)構想の推進
2. 新千歳空港の国際拠点空港化を促進するための整備促進並びに機能強化
3. 日本有数の広大な開発用地と優れた交通アクセスを有する苫小牧東部地域の事業開発の推進
4. 地場産業の振興、新たな産業創出につながる企業誘致の推進
5. 北海道開発にかかる枠組みの堅持

第4章 苫小牧港の整備促進と機能強化の推進

1. 国際コンテナターミナル周辺を含めた基盤整備及び施設整備
2. 苫小牧港西港区の老朽化対策の推進
3. 苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致
4. 苫小牧港(東西港区)の一体的な整備推進

第5章 観光振興施策の強化

1. 港を舞台とした観光・交流の促進
2. 地域特性を生かした観光ルート形成とPR等情報発信の強化
3. 食・スポーツ等による交流人口増加の促進

緊急要望事項

1. 旧サンプラザビル・駐車場施設の公費解体
2. 車両通行量が多い跨線橋(緑・中野・港)の冬期間における交通対策(ロードヒーティング敷設、すべり止め舗装等)の実施
3. 仕事と子育ての両立に適した保育環境の早期整備

特別要望事項(中長期計画)

1. 災害時対応道路として国道36号線と臨海北通の接続道路新設〔中野跨線橋～港跨線橋の約4.2Km間〕
2. 南北交通アクセス向上のためのJR線の市街高架化

第1章 地域企業活動の活性化並びに中小企業対策の推進

1. 低廉かつ安定的な電力供給確保のため泊発電所の安全性を確保した上での早期再稼働の実現

- (1) 泊発電所の早期再稼働に向けた関係機関への要請
- (2) 電力の大規模消費地（工業基地等）に対する市独自の助成・優遇措置の検討
- (3) 新しいエネルギーを含む電力需要に応える国・道への特区指定の要請

2. 企業活動の基盤をなす労働力の慢性的な人手不足に対する人材育成・確保等の雇用対策推進

- (1) 人材育成事業の推進
 - ① インターンシップ・体験就労・人材育成セミナーの開催等への支援
 - ② 苫小牧地域職業訓練センターの実習設備整備への支援
- (2) 労働環境整備や待遇改善等の雇用確保対策への支援
- (3) 高齢者や女性労働者活用に対する支援
- (4) 若年者の雇用・人材育成に関する支援
- (5) UIターン事業（集団面接会・UIターン採用窓口の開設）の推進
- (6) 地元就職を促進する新規高卒者（予定者）合同企業説明会の開催
- (7) 介護・社会福祉法人への就職促進及び施設利用者の就業支援
- (8) 外国人労働者雇用に関する情報発信及び就労ビザ取得要件緩和
- (9) 学校や教職員に対する市内企業のPR

3. CO₂フリー社会の実現を目指した水素エネルギーの利活用の促進

4. 地域の景気刺激策の推進

- (1) 公共事業予算枠確保と早期発注並びに発注・施工時期の平準化
- (2) 地元企業への優先発注
- (3) 公共事業の経済状況に即した発注金額の設定と入札制度の改善
- (4) 指定管理者に対する地場活用の推進

5. 地元中小企業の安定経営を支える諸事業の推進

- (1)ものづくり人材育成事業への協力・支援
- (2)職業訓練法人苫小牧地方職業能力開発協会への協力支援
- (3)中小企業関連条例に則した事業の推進
 - ①「苫小牧市中小企業振興条例」
 - ②「苫小牧市商店街の活性化に関する条例」
- (4)中小企業金融対策
 - ①日本政策金融公庫苫小牧出張所の支店昇格
 - ②苫小牧市融資制度の機能拡充（事業承継対応、雇用対策、空き店舗活用等）
- (5)苫小牧中小企業相談所に対する市補助金の安定確保
- (6)創業支援体制の継続及び強化
- (7)苫小牧市各種補助及び支援制度の情報発信の一元化
- (8)地域産業資源の指定数の拡大
- (9)とまチョップポイントを活用した商業振興の推進

6. 持続可能な地域社会形成の推進

- (1)婚活事業における連携並びに協力支援
- (2)人口減少対策の強化
- (3)理工系の大学や大学サテライトキャンパスの誘致
- (4)相談・一時保護機能を備えた児童相談所の設置
- (5)地域包括支援センター機能の周知徹底

第2章 まちづくり並びに都市機能強化の推進

1. 苫小牧の顔であるJR苫小牧駅南口周辺地域の早期再整備の推進

(1) 駅前周辺再整備の推進

- ① 苫小牧の玄関口にふさわしい中心商業地の早期整備・開発
- ② まちなか居住促進のための生活環境整備の推進
- ③ 街路樹等の環境整備の推進
- ④ バスターミナル機能を含む駅前広場再整備計画の早期策定

2. まちづくりにおける東西バランスのとれた有効的な諸施策の推進

(1) 人口減少社会に対応した生活圏形成の推進

(2) 地域商業地区の整備促進

(3) 商業地区の空き地・空き家の有効活用の推進

(4) 店舗改装費補助金の拡充

(5) 利用企業が集積する柳町・明野新町周辺への各種証明取扱所の早期設置

(6) 老朽化した建築物の取り壊し条例制定について

3. 苫小牧中央インターチェンジの実現と緑跨線橋の早期整備

(1) 苫小牧中央ICの早期完成

(2) 緑跨線橋架け替え工事期間短縮及び迂回道路の対応並びに安全対策の強化

(3) 苫小牧中央IC周辺整備に合わせた道道276号線の拡幅整備

(4) 苫小牧中央IC周辺への情報発信機能を有する「まちの駅」の設置

4. 市民生活の安全と経済活動の利便性向上に向けた道路整備等の推進

(1) 美沢錦岡通の早期整備

(2) 臨海東通の早期整備

(3) 市道柏原開拓1号線の更なる安全性の確保

(4) 市道東部1条通の道道上厚真苫小牧線への接続

(5) 苫小牧登別通（仮称）の接続整備

(6) 国道36号線（樽前～白老間）の拡幅の早期完了

(7) 国道36号線の中野跨線橋及び明野南通の6車線化

(8) 工業団地内の交通標識設置の推進

(9) 地籍調査の早期着手

(10)自然災害に対する防災対策の強化とインフラ整備

- ①公的津波避難施設の設置
- ②企業向けに特化した災害情報提供の強化
- ③集中豪雨による冠水対策等防災対策の強化
 - ㊦冠水対策工事の強化
 - ㊧道路冠水危険箇所マップの作成
 - ㊨冠水防災情報の提供

(11)通勤・通学時の利便性向上のためのJR千歳～苫小牧間（快速便を含む）の増便に向けた関係機関への要請

(12)市内公共交通機関の系統を含めた交通システムの見直し

(13)繁華街への防犯カメラの設置

5. 地域の持続的発展と活性化のための近隣都市（道央・胆振・日高）との地域連携の推進

第3章 地域振興施策の推進

1. 経済活性化並びに観光振興につながる苫小牧版統合型リゾート(IR)構想の推進

- (1) 苫小牧市における統合型リゾート構想の策定
- (2) 統合型リゾートに対する市民理解の促進
- (3) 北海道と連携した誘致活動の推進
- (4) 苫小牧統合型リゾート推進協議会との連携強化

2. 新千歳空港の国際拠点空港化を促進するための整備促進並びに機能強化

- (1) 新千歳空港の機能強化
 - ① 発着枠拡大に対応した受入体制の強化並びに利便性の向上（C I Q体制、リムジンバス等交通アクセスの充実）
 - ② 滑走路延長の早期実現
 - ③ 国際線新航路の誘致
- (2) 空港の拡張に係る地元企業の参入
- (3) 空港民間委託による新千歳空港の一層の活性化

3. 日本有数の広大な開発用地と優れた交通アクセスを有する苫小牧東部地域の事業開発の推進

- (1) 苫小牧東部地域の特性を活かした多彩な産業の誘致並びにプロジェクト誘致への支援（自動車関連産業・食関連産業・物流関連産業・エネルギー関連産業等）
- (2) 苫小牧東部地域を支える道路等のインフラ整備の促進（維持・更新を含む）
- (3) 苫小牧東部地域食品流通・加工拠点形成への支援
- (4) 苫小牧東部地域に自動走行関連事業（自動走行試験場、公道試験プロジェクト、研究開発・生産機能等）の誘致推進

4. 地場産業の振興、新たな産業創出につながる企業誘致の推進

- (1) 企業立地振興条例に基づく優遇措置拡大（物流関連産業含む）
- (2) 進出企業に対するフォローアップの強化
- (3) スタートアップの創生
 - ① インキュベーション施設の設置
 - ② 助成・奨励制度の創設
- (4) 苫小牧市テクノセンター機器の更新及び導入
- (5) 中小企業の輸出に関する取り組みへの支援

5. 北海道開発にかかる枠組みの堅持

第4章 苫小牧港の整備促進と機能強化の推進

1. 国際コンテナターミナル周辺を含めた基盤整備及び施設整備

- (1)東港区の機能伸展のためのインフラ整備
- (2)函館税関コンテナ検査施設（X線検査場）の東港区での早期設置
- (3)コンテナヤードの拡張と競争力ある料金設定への支援
- (4)輸出貨物の増加を図るための施設整備
- (5)東港区集約に伴う物流事業者の関連施設移転等に対する支援
- (6)公設コンテナシャーシー駐車場の設置
- (7)国際コンテナターミナル周辺地域の道路整備

2. 苫小牧港西港区の老朽化対策の推進

- (1)新バース整備の推進（大型船にも対応した中央北埠頭岸壁の改良）
- (2)西港区のうねり対策の早急な対応
- (3)埠頭の有効活用と港湾機能強化

3. 苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致

4. 苫小牧港（東西港区）の一体的な整備推進

- (1)市道東部南通線の路肩を含めた道路整備
- (2)勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修工事までの橋梁強化

第5章 観光振興施策の強化

1. 港を舞台とした観光・交流の促進

- (1) 漁港区周辺の商業施設の更なる充実
- (2) 外国船を含めたクルーズ客船の誘致並びに寄港への支援
- (3) 「みなとオアシス苫小牧」事業への支援
- (4) イベント等によるキラキラ公園の更なる活用
- (5) 港を利用した海釣り観光スポットの創設

2. 地域特性を生かした観光ルート形成とPR等情報発信の強化

- (1) とまこまい産業観光の促進
- (2) 新たな滞在型モデルの創出
- (3) 新たな自然観光体験型モデルの創出
- (4) 北海道新幹線×n i t t a n地域戦略会議の活動推進
- (5) 多言語案内標識等、訪日外国人観光客増加に対応した諸整備の推進
- (6) 苫小牧の気候特性を生かした観光メニューによる来苫客誘致
- (7) 樽前登山やゴルフ場等観光スポットの外国人向けPRの強化
- (8) 広域観光ルートと交通アクセスの確立

3. 食・スポーツ等による交流人口増加の促進

- (1) 地産地消の推進にかかる事業への支援
 - ① 東胆振地産地食フェア・イン・とまこまい事業への助成
 - ② 地産地消情報発信の推進強化
- (2) 全国・全道大会並びにスポーツイベント、合宿等の誘致推進
 - ① 緑ヶ丘公園陸上競技場を活用した大会等の誘致
 - ② とましんスタジアム（緑ヶ丘球場）を活用したスポーツイベントの誘致
 - ③ 2020年夏季オリンピック・パラリンピック等の事前合宿誘致活動の推進
- (3) スポーツ都市苫小牧としての施設の充実
 - ① 苫小牧市緑ヶ丘総合運動公園並びに周辺環境の整備
 - ㊦ クロスカントリーコース早期設置
 - ② 国際基準に対応した施設整備の推進
 - ③ 苫小牧サイクリングターミナルのスポーツ合宿等への利活用の検討